

# 仙台市の新型インフルエンザ対策

～診療所・病院が連携した「仙台方式」の医療提供体制～

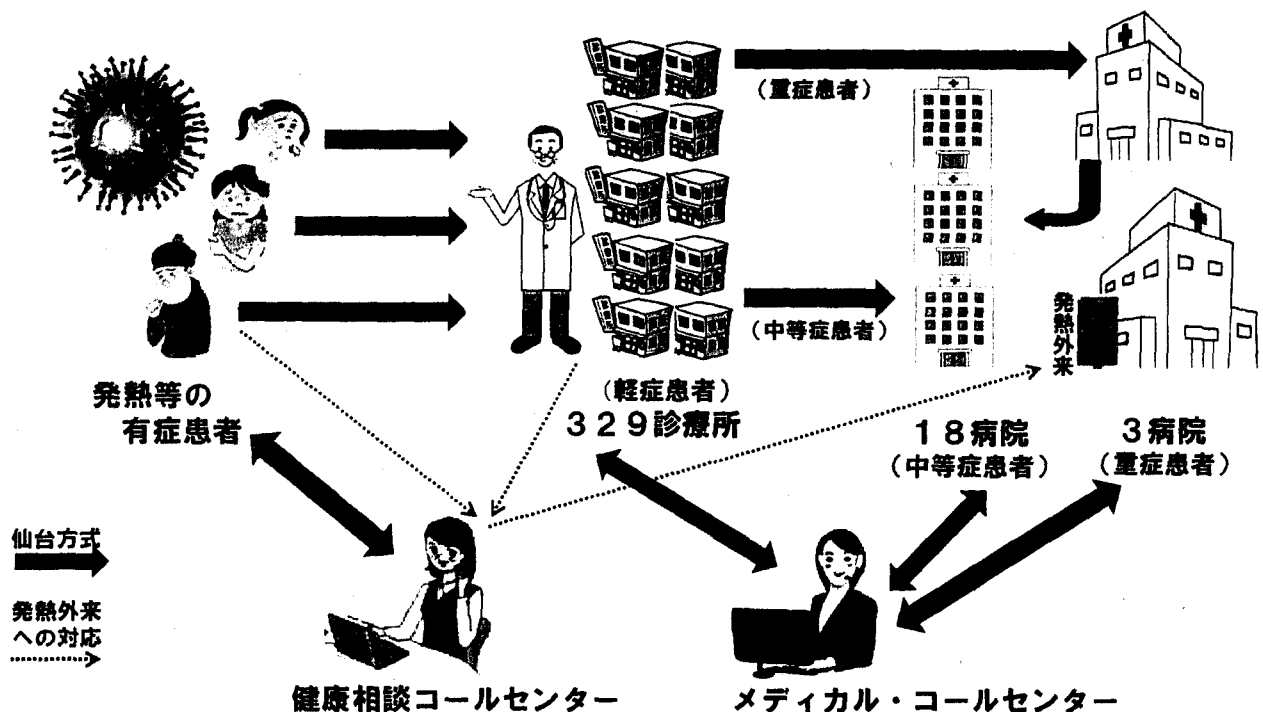
2010年5月12日

仙 台 市

## 仙台市の新型インフルエンザ対策

P. 1

「仙台方式」の医療提供体制



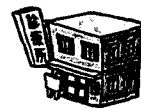
# 「仙台方式」の医療提供体制とは

～仙台市メディカル・アクションプログラム～

## 1. 医療の確保

(1) 軽症患者は、「かかりつけ医」など最寄の診療所を受診する。

市内329診療所が協力申出：内科系232カ所、小児科系43カ所、その他54カ所  
→仙台市は、協力申出の診療所に、従事者用の予防薬とマスクを配付



(2) 重症患者（中等症を含む）は、病院で入院治療を行う。

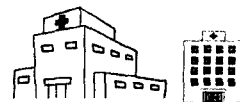
市内21病院が協力申出（→病院の特徴・意向に応じた機能分担）

重症患者 → 3病院  
中等症患者 → 18病院



(3) 仙台市が、メディカル・コールセンター（24時間対応）を設置する。

診療所・病院への情報提供・問合せ対応（現実的には「健康相談コールセンター」で対応）  
（実施例）国方針、国内・市内の流行状況、海外機関からの最新知見  
薬・資材の流通状況、重症患者の受入調整など



## 2. 感染予防・感染拡大抑制

- ① 予防知識の市民啓発、予防接種（インフル・肺炎球菌）の勧奨、小学校欠席率調査・公表
- ② 健康相談コールセンター（24時間対応）、学校休校要請、報道機関と連携した情報提供等



# 「仙台方式」はマスコミが名付け親

～仙台市医師会との信頼関係～

- ・ H19. 4～ 新型インフルエンザ感染予防講習会の開催（延べ50回）  
手洗い・うがい・マスク着用など、市民レベルの対策を普及啓発



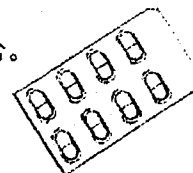
- ・ H20. 4 仙台市医師会との初協議

<共通認識>

- (1) 感染スピードは速く、当初からパンデミックを想定した対策を検討する。
- (2) 患者の受診行動を踏まえ、現実的な医療提供体制を構築する。

<市医師会の意向>

- (1) 医師会は、新型インフルエンザ治療に正面から取り組む。
- (2) 仙台市に対する要望
  - ① 流行状況など最新の情報提供
  - ② 診療所従事者への予防薬の配付
  - ③ 重症患者の入院先病院の確保



- ・ H21. 2 仙台市メディカル・アクションプログラムの策定
- ・ H21. 4～ 仙台市メディカル・ネットワーク会議での協議（これまで5回開催）  
メンバー：感染症専門家、仙台市医師会、市内主要病院、  
仙台市薬剤師会、宮城県看護協会、宮城県、仙台市

- ・ H21. 5～ 仙台市医師会感染症検討委員会での協議  
仙台市：オブザーバー参加

- ・ H21. 5 仙台市医師会新型インフルエンザ研修会の開催  
診療所・病院関係者に協力要請

- ・ H21. 6 マスコミが「仙台方式」と名付ける



# 今後の取り組み

～「仙台方式」の進化を目指して～

## 1. 仙台市感染症対策タスクフォース

東北大学・仙台市医師会・仙台市による「仙台市感染症対策タスクフォース」を設置し、H1N1の第二波や新型インフルエンザ（H5N1）の発生に備え、医療の現状を踏まえた対策を検討する。



## 2. 仙台市メディカル・ネットワーク会議

タスクフォースの検討を踏まえ、仙台市内の医療関係者の連携強化を図ると共に、最新の知見に基づいた正確な情報提供により、市民・事業者へ冷静な対応を促す。

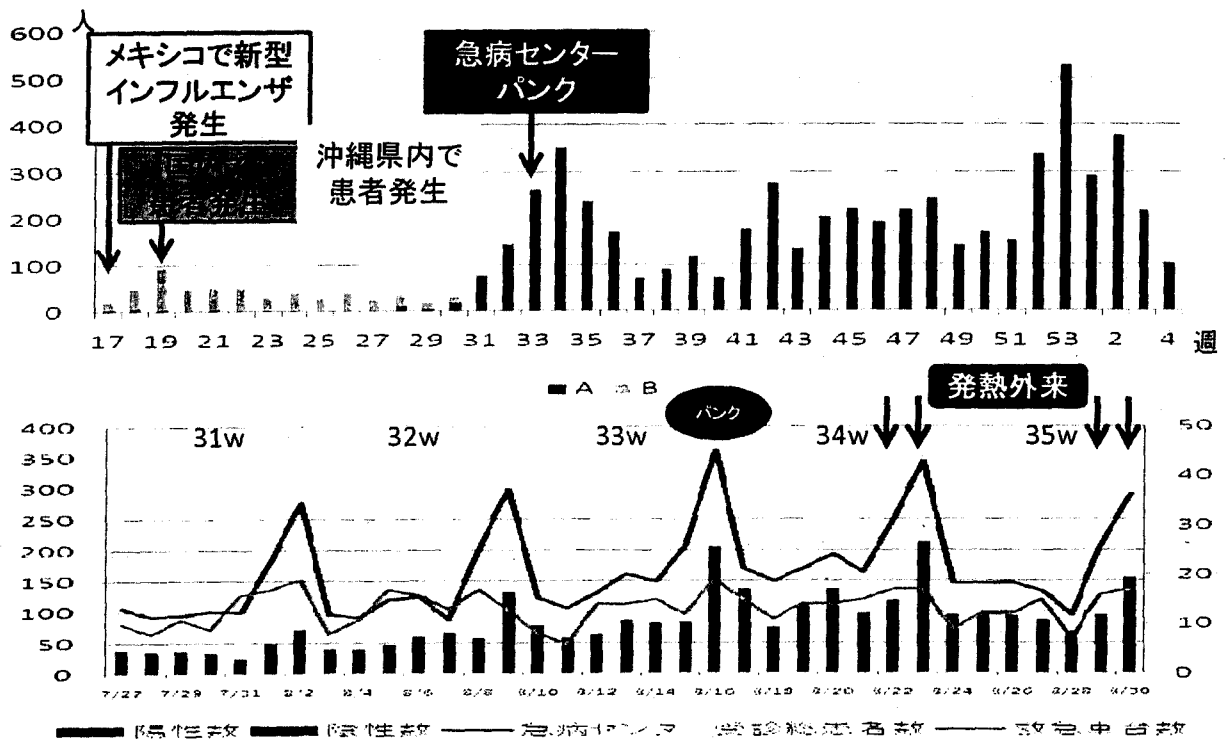


# 那覇市立病院

那覇市立病院 内科

知花なおみ

## 那覇市立病院 2009 インフルエンザ検出状況



## 地下1階;急病センター



## 那覇市医師会参加型 発熱外来

- 土、日曜日;10~22時(8/22, 23, 29, 30, 9/5, 6)
- 1階皮膚科・脳外科外来
- 医師会からの応援
  - 12時~16時、16時~20時
  - 内科2人、小児科1人
- カルテ、処方箋
  - 院外医師は手書き



# 那覇市医師会参加型発熱外来

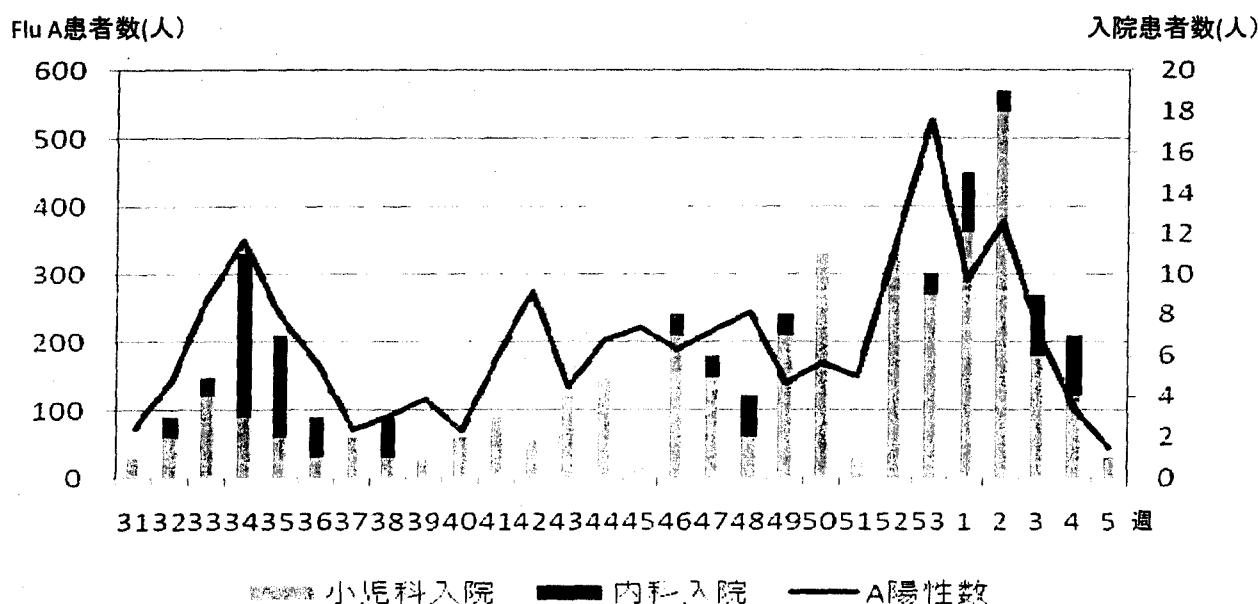
	ER総受診患者数	発熱外来患者数	応援医師
8/22(土)	249	65	内科;1
8/23(日)	342	138	内科;2 小児科;1
8/29(土)	207	52	内科;1 小児科;1
8/30(日)	289	97	内科;2
9/5(土)	156	21	内科;1
9/6(日)	268	77	内科;3 小児科;1

発熱外来患者数;のべ450名、応援医師;のべ12名

## 沖縄県看護協会;電話対応

	8/26 水	8/27 木	8/28 金	8/29 土	8/31 月	9/1 火	9/2 水	9/4 金	9/5 土
件数	11	12	13	13	4	3	5	0	4

## Flu A陽性患者数、入院患者数 31週～5週



入院;158人(内科 35人、小児科 123人)

# 対応;まとめ

- 通常の救急患者と急増するインフルエンザ患者で、急病センターは一時パンク寸前までいった。
  - 集中する週末は那覇市医師会の協力による発熱外来で対応
  - 那覇市近郊拠点病院でのインフルエンザサーベイランスが那覇市医師会によって数年前から行われており、地域での流行状況を皆が把握していた
- 電話相談も増加
  - 沖縄県看護協会ボランティアが対応
- 入院、外来ともに小児科が多かった
  - 沖縄県インフルエンザ重症例情報を参考に、重症例については病院間で連携を行った
- 観光客・マスコミへの対応
  - 県が観光局などと連携
  - 沖縄県医師会によるマスコミとの懇談会開催